



2014 国際保健医療協力研修

明日のグローバル保健医療人材をつくる

募集要項

豊富な活動フィールドを持つ NCGM ならではの国際保健医療協力研修



国立国際医療研究センター（NCGM）国際医療協力局は、日本を代表する国際協力機関として、開発途上国の医療や保健衛生の向上を図るため、厚生労働省や外務省、国際協力機構（JICA）、世界保健機関（WHO）および国立病院機構などと連携して各国への技術支援や国内外の人材育成、国際保健医療分野の研究を行っています。

これまでアジア・アフリカ・中南米の国々で様々な技術協力プロジェクトを展開し、現在は 14 のプロジェクトを実施しています。また、開発途上国から多くの研修員を受け入れており、その数は約 130 カ国から延べ 2500 名に上ります。

近年広まりつつある“Human Security”（人間の安全保障）という新しい概念の達成には、開発途上国の人々の健康の保持増進が特に重要とされています。“Globalization”の潮流の中で国際保健医療協力は日本が一層期待される分野でもあり、国際的に活躍できる日本人の育成が求められています。

NCGM 国際医療協力局は、これからの日本の国際医療協力を担う若い人材がグローバル保健医療人材としてのキャリアビジョンを描くきっかけとなることを目指して、様々な人材育成活動を行っています。



国際保健医療協力を多角的に学ぶ 充実のコース内容

「国際保健医療協力研修」は、将来の国際保健医療協力を担う日本人の人材を養成するためのより実践的な研修です。専門家による「講義」、問題解決を戦略的にアプローチする PCM 手法（Project Cycle Management）を学ぶ「計画立案実習」、海外で国際協力の現場を体験する「フィールド研修」の 3 部構成によって国際保健医療協力を多角的に学べるコースです。「講義」で国際保健医療協力の基礎知識を習得するとともに、「計画立案実習」、「フィールド研修」で体験的に実践力を養い、グローバル保健医療人材を育成します。

到達目標

1. 国際保健医療協りに必要な基礎的な知識および関連する手法を習得する。
2. 基礎的な知識や手法を基に、国際保健医療協力の現場での実践を通し、応用力を養う。

3 部構成の研修コース

講義

国内での専門家による講義

開発途上国援助と国際保健医療協力に関する基礎的な知識を学びます。

計画立案実習

国内での講義と演習

問題解決を戦略的にアプローチする PCM 手法（Project Cycle Management）を学び、フィールド実習の準備を行います。

フィールド研修

海外でのフィールド実習

海外でのフィールド実習を通して講義で学んだ知識をもとに現場で求められる様々な課題に実践的に取り組みます。



2014 第5回国際保健医療協力研修

国際保健医療分野での活躍を希望する 参加者を募集します

国際保健医療協力研修は、2010年に新設され、今年度で5回目を迎えます。日本国内での講義、計画立案実習、海外でのフィールド研修の3部構成による2週間のプログラムで、国際的に活動フィールドを持つNCGMのネットワークを十分に活かした内容となっています。同行する複数の専門家によるサポート体制も整っていて、海外が初めてという方にも安心してご参加いただけます。

国際保健医療の分野で活躍を希望される参加者を募集いたします。詳細・応募申込方法は、NCGM国際医療協力局のホームページでもご案内しています。

<http://www.ncgm.go.jp/kyokuhp/>

研修期間

2014年9月23日(火・祝)～10月6日(月) [14日間]
 講義： 9月23日(火・祝)～25日(木)
 計画立案実習： 9月26日(金)～27日(土)
 フィールド研修： 9月28日(月)～10月5日(日)
 まとめ： 10月6日(月)

場所

講義/計画立案実習： 国立国際医療研究センター
 研修センター4階
 フィールド研修： ベトナム社会主義共和国(予定)

募集人数

15名程度

参加費

約25万円* (税込) 旅費、宿泊費、教材費および諸経費

*研修中の食費等の生活関連費は別途自己負担となります。

日程表

| | | |
|----------------------|---|---|
| 9月23日(火・祝) | 講 | 開講式、オリエンテーション 国際保健医療協力概論 国際機関、ODAと援助協調、JICA 人間の安全保障 |
| 9月24日(水) | 講 | 開発援助、社会的企業・BOP 緊急医療援助と国内災害支援 日本の保健行政のしくみ |
| 9月25日(木) | 講 | 保健システム概論、母子保健概論 感染症対策概論 プライマリーヘルスケアと ヘルスプロモーション 社会調査 インタビュー方法 |
| 9月26日(金) | 実 | ベトナムの保健事情 問題解決手法 |
| 9月27日(土) | 実 | 問題解決手法 フィールド研修準備(グループワーク) |
| 9月28日(日) | フ | ベトナムへ出発 成田空港集合 →ハノイ着 |
| 9月29日(月) | フ | バックマイ病院訪問(ハノイ) ホアビン省へ移動 保健局(省病院)訪問 |
| 9月30日(火) | フ | (ダバック)郡病院訪問 (カオンソン) コミュニオンへ移動 |
| 10月1日(水) 10月2日(木) | フ | ホアビン省総合病院にて グループワーク |
| 10月3日(金) | フ | ホアビン省総合病院にて報告会 →ハノイへ移動 |
| 10月4日(土) | フ | 自由行動 →空港へ移動 帰国へ |
| 10月5日(日) | フ | 成田着 解散 |
| 10月6日(月) | フ | まとめ、修了式 |

講 講義 実 計画立案実習 フ フィールド研修

日程と内容に変更になる場合があります。

受講プラン

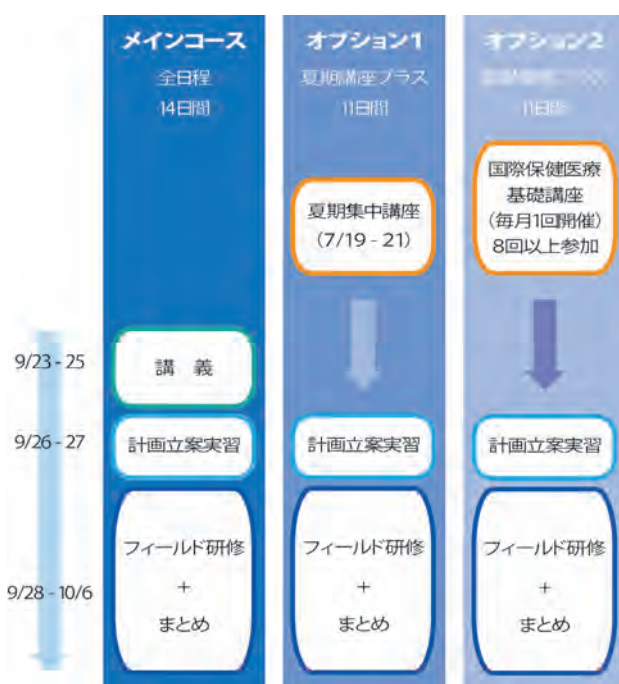
メインコース全日程の参加が原則ですが、次のいずれかの条件を満たしている方は講義期間を免除し、計画立案実習期間からの参加が可能です。

- ・国際保健夏期集中講座*に参加し、修了書を授与された方
- ・国際保健基礎講座**を過去に8回以上受講し、修了書を授与された方

*国際保健夏期集中講座：2014年7月19日(土)～21日(月・祝)開催予定。

**国際保健基礎講座：毎月第4土曜日、年12回開催。

各講座の詳細は NCGM 国際医療協力局のホームページをご参照ください。



- ・講義+実習5日間だけの参加も可能です。
- ・各オプションの参加費用については別途お問い合わせください。

応募資格

- [ア] 今後国際協力を携わる事を希望する者。または国際協力等の経験を有する者で今後も国際協力を携わる事を希望する者。
- [イ] 社会における実務経験が概ね2年以上である者。
- [ウ] 心身共に健康である者。
- [エ] 高校卒業程度の英語力を有する者。
- [オ] 年齢が20歳以上であること。

*応募者数が定員に達した場合には、上記基準により、研修事務局にて参加者の選考を行います。

*フィールド研修中は、ベトナム語と日本語の通訳が同行しますが、訪問施設先で英語での討論を行う場合があるため、日常会話程度の英語力を望ましい語学レベルとしています。

応募申込

次の書類を国立国際医療研究センター国際医療協力局研修企画課宛にお送りください。

応募書類は NCGM 国際医療協力局ホームページ「イベント情報」からダウンロードできます。

<http://www.ncgm.go.jp/kyokuhp/>

締切：2014年7月25日(金) 必着

応募書類

- [ア] 応募申込書 [様式1]
- [イ] 履歴書 [様式2]
- [ウ] 健康診断書 [様式3]
- [エ] 応募の理由・動機・応募に至る経緯 [様式4]

*健康診断書は、計画立案実習開始前までの提出でも可。

書類送付先

郵送： 〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
国立国際医療研究センター
国際医療協力局 研修企画課

Email: kensyuka@it.ncgm.go.jp

受講者の決定

書類選考により決定し、書面にて本人宛てに通知します。

修了証書の授与

9割以上出席の参加者に修了証書を授与します。

宿泊施設

宿泊を希望する受講者には、国立国際医療研究センター内第3研修棟宿舎をご利用いただけます。受講決定次第、希望者には宿泊案内を送付します。 *室数には限りがあります。

お問い合わせ

ご質問は研修事務局までお問い合わせください。ホームページ「イベント情報」の「よくある質問」ページもご参照ください。

研修事務局

独立行政法人国立国際医療研究センター
国際医療協力局 研修企画課
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
TEL：(代表) 03-3202-7181 (内線) 2704
(直通) 03-5273-6826
担当(田鍋)： kensyuka@it.ncgm.go.jp

